

福島原発事故からの復興に向けたIAEA事業支援(任意拠出金)		施策番号090
福島復興再生基本方針における該当箇所		府省庁名
頁	49	外務省
章	第3	
節	2	
項	(6)	作成年月
目	⑥	平成25年5月
予算措置の状況		
【平成23年度(第3次補正)】 ・福島原発事故からの復興に向けたIAEA事業支援 935百万円【一般会計】		
施策の内容		
・国際原子力機関(IAEA)が有する原発事故処理に関する専門的知見、技術等を福島原発事故収束のための諸活動に活用し、事故収束迅速化と事故からの復興促進を図る。また、福島原発事故対応のためにIAEAミッションを受け入れること等により、優れた知見を原発事故対策に取り入れるだけでなく、客観的で公正な権威ある専門機関の評価を受けることにより、我が国に対する内外の信認を回復させるためIAEAに特別拠出金を拠出する。		
施策の進捗状況及び今後の予定		
・平成24年12月15日に福島県郡山市で開催された「原子力安全に関する福島閣僚会議」に際し、福島県と国際原子力機関(IAEA)の間で「東京電力福島第一原子力発電所事故を受けた福島県とIAEAとの間の協力に関する覚書」が署名された。同覚書に基づき、今後、IAEAとの間で、福島県における放射線モニタリング及び除染、人の健康、並びに緊急事態の準備及び対応の分野において、各種協力プロジェクトが行われる予定。		

原子力安全に関する国際会議開催		施策番号091
福島復興再生基本方針における該当箇所		府省庁名
頁	49	外務省
章	第3	
節	2	
項	(6)	作成年月
目	⑥	平成25年5月
予算措置の状況		
【平成24年度】 ・原子力安全に関する福島閣僚会議 344百万円【復興特会】		
施策の内容		
・我が国に於いてIAEAと共催で原子力安全に関する会議を行い、福島原発事故後の安全対策の取組や、事故からの復興状況等について報告を行い、IAEAや我が国を含む加盟国の原子力安全に対する信頼回復を目指す。		
施策の進捗状況及び今後の予定		
・2012年12月15～17日、福島県郡山市において「原子力安全に関する福島閣僚会議」を開催し、117の国及び13の国際機関が参加（46の国・国際機関から、閣僚・国際機関の長を含むハイレベルが参加）し、閣僚級の本会合（15日）及び専門家会合（16～17日）を開催。 ・本件会議は、閣僚及び専門家レベルで、東京電力福島第一原子力発電所事故から得られた知見及び教訓を国際社会と共有し、更に透明性を高め、そして、放射線からの人及び環境の防護のための措置並びに国際原子力機関（IAEA）行動計画の実施を含む原子力安全の強化に関する国際社会の様々な取組の進捗状況を議論することを目的として、我が国及び国際原子力機関（IAEA）の共催により開催された。		